



来日前後の体験を披露するボロルマーさん(左から2人目)  
＝伊東市八幡野の伊豆高原十字の園

# 外国人雇用制度学ぶ

## 対島地区19介護施設が連絡会

伊東市八幡野の伊豆高原十字の園でこのほど、対島地域介護事業者連絡会(対島地域包括支援センター主催)が開かれた。対島地区の19施設が参加し、外国人の雇用について理解を深めた。

うさぎ薬局で外国人の登録支援を行う担当者らが雇用制度を説明した。受け入れ方法として▽自国へ介護技術を持ち帰るために学ぶ「技能実習」▽日本語と介護の一定の能力を持ち、最大5年間働く「特定技能1号」▽介護福祉士資格と永住権を持つ「在留資格介護

」などを紹介した。受け入れに必要な費用や受け入れ後のサポートの説明も行った。

続いて実際に特定技能生として市内の介護施設で働くミャンマー出身のソーティリさん(25)とモンゴル出身のハグワスレン・ボロルマーさん(39)がそれぞれの体験を伝えた。ソーティリさんは「周りの職員が優しいので大変でも大丈夫」と明るく話した。ボロルマーさんは「来日した時に日本語が通じなかったのが恥ずかしくて努力した」と語った。